

あさか環境市民会議 運営会議 議事録

日 時：令和7年6月24日（火）午後3時～午後5時

場 所：リサイクルプラザ

出席者：松永会長、小林副会長、栗田会計、豊田監査、明山さん、大木さん、角さん、小林さん、田中さん、山本さん、渡辺(や)さん、児島教授（東洋大学）、事務局（山代）

1 報告と振り返り

～根岸台～

- ・（豊田監査）5月27日、市から樹木が倒れたと連絡があったので確認に行った。現場は足場の悪い斜面だったので出来る範囲で処理したが、周囲の木の幹まで割いて倒れていて、尋常ではなかった。市がないと処理が難しい。詳細はホームページを確認してほしい。地域のために動くのはいいことだが、市も一緒に動きたい。
ウバユリの咲くところなので、倒れた木の整理をする時に下草を刈った。
- ・（松永会長）作業日の前日に倒木（直径80cmのコナラ）の連絡があり、角さんをリーダーとして処理した。
- ・（角さん）根本を見たら根がなかった。枯れてから5、6年は経っていて、かろうじて立っていたのが風で倒れたと思われる。枯れ木や枯れ枝を探すのは今が一番いい。今の時期に葉がついていないのは枯れている。今回倒れた木以外にもあった。枯れている木は今の内にマーキング等の対応が必要。緑地内歩く時は、下だけでなく上も見の方がいい。倒れてから処理するのではなく、予防していくべき。
- ・（松永会長）怪我や事故防止のため、普段から上も下も確認するようにしたい。
6月24日、活動中に沢田さんがハチに刺された。おそらくコスズメバチ。具合が悪くなったら救急車を呼ぶように伝えた。
- ・（豊田監査）池の跡地の湿地に泥が溜まっていたので掃除をした。側溝周りの土と草を取り除いた。雨が降ると細かい泥が流れ込むので毎回処理が必要と感じた。これから梅雨なのでどんどん溜まってしまう。
- ・（明山さん）池は側溝に土が溜まらない工夫がしてあったが、干して泥上げして流れを元に戻した。これから大雨が心配であれば、手前で止めて泥さらいをして奥の方に水を落とす方がいい。

～岡～

- ・6月の活動は雨のため中止。

～宮戸～

- ・（明山さん）5月24日（土）、田んぼ側の斜面の下草刈りをした。サルビアやオニアザミを抜いた。
民家のそばの風で枝が揺れてしまう木をみどり公園課が切った。枯れていたようで、根本から切ったようだ。枯れ木のチェックを行いたい。（
- ・6月17日（火）、臨時でサルビアとオニアザミを抜いた。枯れ木はワイヤーで固定した。
これから下草が繁殖するので、定例の活動だけでは処理が追いつかない。蔓性植物（ツルニンジン、センニンソウ）も出てきているので、いずれ手入れが必要。

定例の活動日ではなかったが、旧定例日だったので新規入会者が2名来た。新しい活動日程表を渡した。

- ・(角さん) 枯れ木のワイヤーの処理について、必要なものを市に伝えたが手配や連絡が遅く、作業日に準備が間に合わなかった。自分で用意したものを使用した。

～その他～

○運営会議 8 月、9 月予定変更

- ・ 8 月休会⇒8 月 26 日火曜日 15 時から 17 時に変更
- ・ 9 月 23 日火曜日⇒9 月 30 日火曜日 15 時から 17 時に変更

※8 月は活動は休止していたが運営会議は開催していた、9 月は 23 日休日の為。

○イベント

- ・ 抜き取りイベントは 6 月 29 日 (日)。
同日にみやど公園がオープンする。
- ・ 黒目川川まつりは 7 月 20 日 (日)。

○宮戸緑地について

- ・ (松永会長) 6 月 28 日の活動日にタコクルさんの学生さんが 10 人来る予定。みどり公園課も取材に来る。
(明山さん) 作業は法面の草刈りを行いたい。キツネノカミソリやヤブカンゾウが多いので、間引きして見えるようにしたい。
- ・ (松永会長) 宮戸の田んぼを復活させたい。
(小林副会長) 機械が必要。苗をどこで作るか。地主が若手になったが、どこまでやるのか。地主と話し合う担当を決めてはどうか。⇒担当：小林副会長、明山さん

○作業時の安全管理について

- ・ (小林副会長) 毎月少しずつ木を調べて回りたい。枯れ木のチェックや、何の木がどこにあってどういう状態なのか。
- ・ (松永会長) 行うなら時間を決めて行いたい、先に安全管理について決めた方がいい。定例日以外の日に活動が必要になった場合に、どうするか。一人で活動して何か起こったら問題になる。
- ・ (豊田監査) 一人での作業はやめた方がいい。危険だしはかどらない。最低限 2 人で、隣人や他の会員に報告してから。
- ・ (渡辺さん) 一人はやはり危険だが、その時期でないとできない作業もある。メールや LINE で連絡してからやればいいのか。
- ・ (山本さん) やらなければならないことは出てくる。連絡網を作って参加する人を募ったり決めるのはどうか。
- ・ (栗田会計) LINE は現在 22 名だが、もっと広げることではないか。
- ・ (松永会長) LINE についてはメールで知らせている。増やそうとは考えていないが、情報共有できるのは安心。

作業において何が安全・危険か確認したい。また、作業中ヘルメット着用は必ずお願い

したい。

危険な作業：チェーンソー、刈払い機、脚立使用の高所作業。

チェーンソーは安全講習が必要。何が危ないのかわかっていないことがある。周知が足りない。

- ・(山本さん) 定例日以外は作業内容を制限した方がいい。チェーンソーの使用や高所作業は行わず植生のみ、など。
- ・(明山さん) 今まで、定例日にやり残した作業や、定例日前の下準備をやっていたこともある。
- ・(小林副会長) 定例日以外はLINEで緑地の責任者に連絡を入れてはどうか。
- ・(豊田監査) 根岸台では、一人で作業する時は高橋家の管理をしている方に伝えているが、なるべく2人で作業するようにしている。木から落ちたことがあり、一人で木に登るのはやめた。
- ・(松永会長) 一人で作業するのは決まった人。一人でやらざるを得ない時に、安全に作業するにはどうしたらいいか。**個々人でしっかり考えて運用方法を提案ください。**LINEで連絡を入れても、グループLINEだと反応が少ない。
- ・(渡辺さん) 作業の前後に担当者に必ず連絡して所在を知らせるのはどうか。
- ・(松永会長) 担当者だけでは負担が増えるので、役員にも知らせるか。
- ・(小林副会長) それでやってみて、問題があればまた検討したらいいのではないか。
- ・(児島教授) 近隣には伝えているのか。⇒(松永会長) 定例日以外については伝えていない。定例日も、近隣で知っている方は少ない。先日も、会員が一人で作業していた際に近隣から通報があった。
- ・(山本さん) 掲示板を作って活動日程表を掲示したり、「作業中」の札を貼るのはどうか。
- ・(豊田監査) 根岸台では、作業中の札を作っていて、活動日も掲示している。近くの畑の人には挨拶しながら活動している。そこを足がかりに周囲に周知していけたらいい。見慣れない人がいても挨拶するようにしよう。
- ・(松永会長) 暫定的な結論として、「定例日以外に活動する場合は、作業の前後にグループLINEで報告する」。実際にやってみて様子を見たい。また、一人の時は伐倒や高所作業はやらないでほしい。

○緑地の管理方針

宮戸

- ・(松永会長) 今年中に決めて来年の総会にもっていきたい。樹木調査も行いたい。
- ・(明山さん) 中を歩けるように遊歩道を設置したい。みどり公園課が持っている地図があれば、樹木調査もやりやすいと思う。⇒(松永会長) 今もあるならぜひ見たいが、以前みどりに聞いても担当者は地図については把握していないようだった。自分たちでやるしかない。

根岸台

- ・(豊田監査) 郷戸は広いので大変。飛び地もあり、周囲の地主も何人もいる。みどり公園課と道路整備課も絡んでいる。管理方針を定めるのはもう少し時間がかかる。
- ・近所の方をよく見掛けるが、挨拶するようになったのは1年以上経ってから。あせらず周

囲とのつながりを作りたい。人家も近いので、プライバシーに配慮して活動したい。

- ・（松永会長）根岸台も宮戸のように解放したいが、希少植物や沼地があり難しい。でも多くの人に知ってもらいたいので、入れるよう整備したい。

岡

- ・（松永会長）岡は料亭として営業していた歴史的背景があり他の緑地とは植生が違う。湧水量の多さや池の良さなど、見学会を行って見てもらいたい。

次回運営会議は6月22日（火）15：00から リサイクルプラザにて